

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金等の実績について

1. デジタル田園都市国家構想交付金

(1) 事業概要

(単位:円)

交付金事業名	予算事業名	事業概要	担当課	交付金対象事業費	うち、交付金
若者の地元定着推進事業	中小企業ステップアップ支援事業	中小企業者が実施する「人材育成事業」「情報化事業」「販路開拓事業」「人材確保事業」「外部人材・サービス事業」に対し、経費の一部を補助し、経営基盤の強化を支援した。	商工観光課	2,990,000	1,495,000
	魅力ある職場環境づくり応援事業	デジタル機器の導入により従業員の負担軽減や働きやすさに繋がる取組を支援することで、地元就職・定着を図った。	商工観光課	3,026,000	1,513,000
	定住促進協力企業等発信事業	市内企業を紹介する冊子「たまの企業ガイド」を更新し、市内高校等に配布した。併せてSNSにより情報発信することで相乗効果を生み、地元企業の情報を広く提供し、地元就職・定住促進を図った。	商工観光課	45,210	22,605
	たまのの魅力再発見・発信事業	児童生徒に様々な職場体験や地域資源を活用した教育活動を実施することで、玉野の魅力や課題を知り地域の構成員としての意識を育んだ。また、子ども達が学びから得た地域の魅力や課題解決方法を発信することで、本市の活性化を図った。	学校教育課	769,895	384,947
小 計				6,831,105	3,415,552

IT企業等誘致推進事業	定住推進事業	移住ポータルサイトを新たに構築し、移住支援情報や移住者インタビューなどの移住希望者が求める幅広い情報を一体的に発信した。また、移住ポータルサイトと連動したWeb広告などのプロモーションを行うことで、本市の認知度向上を図った。	総合政策課	4,107,000	2,053,500
	企業立地促進事業	子育て世代の女性を中心に在宅ワーカーの育成と就労支援を行い、IT企業やサテライトオフィス誘致のインセンティブの一つとするため、在宅ワークセミナーを開催した。また、コワーキングスペース整備の検討材料である需要把握のため、ワークブースの設置を行った。	商工観光課	2,906,949	1,453,474
	ワーケーション事業	テレワーク導入等の新しい働き方が浸透し始めている現状を受け、広大な土地を必要としない企業・部門を対象に「お試しワーケーションツアー」を実施し、新たな産業の誘致を目的としたニーズ調査や分析を行った。	商工観光課	11,220,000	5,610,000
小 計				18,233,949	9,116,974

合計	25,065,054	12,532,526
----	------------	------------

(2)KPI達成状況

事業名	KPI名称		事業開始前	令和5年度目標値	令和5年度実績	実績値の目標達成・未達成理由(達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))
若者の地元定着推進事業	KPI①	市内高等学校卒業者のうち就職者の市内就職率	39.50%	46.50%	35.90%	他県の半導体等工場建設により、県内企業の人材獲得競争が激化した。今後、玉野地区雇用開発協会・高等学校と協力して若年層への市内企業の知名度向上に取り組む。
	KPI②	本事業により構築した新たなキャリア教育の仕組みによる活動を実施した学校の割合	0.00%	10.00%	100%	すべての学校においてキャリア教育の教育課程を作成し、児童生徒に向けてのキャリア教育を実施した。
	KPI③	本事業を通してステップアップに取り組んだ企業数	0社	20社	25社	DXをはじめとした業務効率化に取り組む意欲ある企業の潜在的な需要を資金面で後押しした。
IT企業等誘致推進事業	KPI①	ワーケーションツアー参加企業数	0件	6件	6件	当初の予定通りツアーの開催ができたため。
	KPI②	デジタル人材育成セミナー受講者数	0人	10人	37人	リアル会場だけでなく、オンラインでの受講もできるようにしたため、参加しやすかったと思われる。また、SNSでの広告も周知に効果的であったと考えられる。なお、前段階の入門セミナーには55人の参加があった。
	KPI③	IJUコンシェルジュを通じて移住した組数	86組	96組	98組	昨年度とほぼ同数であるが、丁寧な相談対応や市内案内を継続することで、一定の成果を上げることができた。
	KPI④	移住ポータルサイトのページビュー数	0PV	12,000PV	15,679PV	ポータルサイト公開後、web広告を実施した。ポータルサイトへ誘導することができ、プレビュー数の増加につながった。